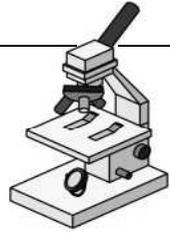


理科 (Science)

◇理科で何を学ぶのか

理科を学ぶ魅力は、新しい発見がたくさんあるわくわくやドキドキだと思います。では、何のために学ぶのでしょうか？理科の目的は、科学的な見方や考え方を身につけることです。



まず求められるのは、未知なるものを探究していこうとする態度や、物事を多角的な視点から捉える見方です。そして、条件を制御した中で比較・検証したり、試行錯誤して規則性や決まりを見いだしていく力を身につけていってほしいと思います。

◇予習について

教科書の内容を先読みすると、せっかくのわくわく感が失われてしまいます。理科の予習として大切なことは「これまでに学習したことを振り返る」ことです。小学校の内容や前の学年で学んだことを確認しておきましょう。

◇授業について

理科の授業は、

①課題→②予想→③観察・実験の結果→④考察→⑤まとめ

という問題解決型の流れで行います。予想や考察の場面では、自分なりの意見をもつことが大切です。そして明らかになった事柄を整理してまとめることで理解を深めましょう！



◇復習について

学んだことが理解できているか、問題を解くことで確かめていきましょう。もし、理解が不十分だなと感じたら、自分なりにノートにまとめ直しましょう。

また、実験方法の絵を描いたり、結果を表やグラフにまとめたり、モデル図を使って模式的に表したり、視覚的にわかりやすくまとめていくことをおすすめします。

◇テスト前の学習について

たくさん問題を解きましょう。わからなかったところは解説を読んで解き方を確認しましょう。教科書に載っている重要語句を暗記することも大切ですが、「なぜその答えになったのか」という理由を考えることが大切です。

また、法則を利用した計算の学習や、実験や観察での技能面の学習も大切です。得意・不得意はあるかと思いますが、どんな問題でも解けるように、まんべんなく学習を進められるとよいですね。

社会科 (Social Studies)

◇社会科で何を学ぶのか

社会科を学ぶことは、未来に生きるみなさんがよりよい社会を築いていくことです。

歴史の学習は、私たちの未来のために行います。それは、人間の生き方の素晴らしさと愚かさを、これからの人生の教訓とすることができるからです。地理の学習では、自然の偉大さとそれを活用して生きていく人間の知恵と、これからの自然との関わり方を考えさせられます。公民の学習では、現代社会のしくみを学びながら、全ての人人間らしく生きるための方法を考えます。私たちは、「社会」の中で生きています。社会とのよりよいつながり方を学び、考えていくことはとても大切なことです。

◇予習について

・予習をする必要はありません。(もちろんやっても構いませんが…) それよりも毎日ニュースや新聞等を見て、今、社会で起きていることに興味をもちましょう！

◇授業について

- ・授業に真剣に取り組むこと！積極的に参加(たくさん発言)すること!!
- ・目標(一授業・単元など)を意識しながら、授業中の活動を一生懸命がんばりましょう。
※学習の「めあて」や「振り返り」を大事にしましょう！
- ・授業の振り返りや先生からのアドバイスを授業中の活動で生かしましょう。
- ・板書に書いてないことも気になったら書きましょう。
(予備知識も一緒に覚えると長期記憶になります)



◇復習について

- ・授業があった日は、その日のうちに復習をしましょう。
授業内容をノートにまとめ直したり、ワークの問題をやり直したりすることが大切です。
- ・わからないことをそのままにしない！
わからないことは、まずは教科書などを使って調べる→それでもわからないときは、必ず質問しましょう。

◇テスト前の学習について

- ・授業で学んだことや身につけた力を定期テストや豆テストで確認します。授業の復習をノートやワーク等を使って行いましょう。
- ・ワークでわからないところがあったら、教科書や資料集を使って自分で調べましょう。それでもわからないところは、答えを見て、答えを赤で書きましょう。テストまでに2周以上できるとよいですね！



旭中学習の手引き(5教科)

学校教育目標「心豊かに かしこく たくましく」

目指す生徒像(校訓)

- 自学** 学ぶ意欲をもち、自ら努力する生徒
- 共同** 自他を認め、ともに力を合わせる生徒
- 克己** 心身ともに健康で困難に立ち向かう生徒
- 奉仕** 感謝の気持ちをもち、すすんで奉仕活動に取り組む生徒



目指す生徒像(校訓)の中に「学ぶ意欲をもち、自ら努力する生徒」とあります。誰かに言われたからやるというのではなく、自分自身で学習への意欲を高め、目標を立て、目標を達成するために努力を続けるということです。

このリーフレットには、「どのように学習をすすめればよいのか」のアドバイスがあります。参考にしてください。

リーフレットに書かれている内容は…

「各教科で何を学ぶのか」…教科担当からのメッセージです。しっかり読んでから授業に臨みましょう！

「予習について」…予習してほしい内容が書かれています。予習することで「わかる」と「わからない」を区別することができ、スムーズに学習に取り組むことができます。ただし、教科によっては予習をしない方がいいものもありますので確認しましょう。

「授業について」…授業中の約束や準備してほしいことなどが書かれています。学校生活の中で多くの時間が各教科の授業になります。授業中に遠慮はいりません。毎時間の授業を大切にして、積極的に参加しましょう！

「復習について」…復習してほしい内容が書かれています。授業で学んだことを確実に定着させるためには、復習が大切です。「予習と復習の両方をやる時間がない」という人は、復習をやるようにしましょう。

「テスト前の学習について」…テスト前にこれだけはやってほしいという内容が書いてあります。自分の力を出し切るために、計画的に学習を進めましょう！

☆あさピー教室に参加しよう！

旭中学校では、放課後補習として「あさピー教室」を実施しています。学習についてわからないことがあれば、担当の先生に相談しましょう。参加する場合は、担任の先生と部活動顧問の先生に参加することを伝えてから来てくださいね！

国語科 (Japanese)

◇国語科で何を学ぶのか

言葉で相手に思いを伝えられるのは楽しいことです。相手の思いを言葉で受け取ることができるのは嬉しいことです。勉強するにも、コミュニケーションをするにも言葉が基本！国語科では言葉の使い方、言葉との付き合い方を学び、言葉のスペシャリストを目指していきます！

◇予習について

- **教科書を読む**: すらすら音読できるのが理想。少なくとも読めない漢字をゼロにするのがスタートライン。
- **意味調べをする**: ワークに載っているものだけでなく、わからない言葉を積極的に調べておくこと。
- **漢字練習をする**: 単元の範囲を漢字ノートで確認し、あらかじめ取り組んでおくこと。



◇授業について

- **積極的に発言しよう**: 遠慮してはいけません。わかったこと、気づいたことはどんどん発言しましょう。
- **間違いから発見が生まれる**: 友達の間違いや失敗を笑ったり、からかったりしてはいけません。そんな雰囲気では学力は伸びない。人間は間違いから成長していくものです！
- **板書以外にもメモを取ろう**: 黒板に書かれたことは最低限のことです。友達の発言や自分で気づいたこと、ひらめいたことをさっとメモする習慣をつけましょう。
- **質問しよう**: わからないことをそのままにしないで、先生や友達にどんどん質問しましょう。
- **辞書を活用しよう**: わからない言葉はその場で、すぐに辞書を引いて調べて確かめる習慣を身につけよう。辞書を引くほど語彙が増えますよ。
- **話を最後まで聞こう**: 想像力を働かせて、五感を使って話を聞こう。相手が何を言いたいのか、頭を働かせて聞こう！

◇復習について

- **授業の範囲のワークを解く**: 答え合わせもしっかりしておこう。ワーク提出は答え合わせが済んだ状態で提出すること！
- **漢字練習をしよう**: 新出漢字はもちろん、今まで習った漢字を書けるように、毎日少しずつ練習しましょう。
- **自主学习をしよう**: 意味調べ、漢字練習などに時間をかけましょう。やらされるのではなく、自主的にやりましょう！

◇テスト前の学習について

- テスト範囲のワークを進めましょう。内容理解が深まります。特に記述式の問題には真剣に立ち向かおう。
- 漢字は一回で覚えるつもりで取り組むのがベスト。覚えきれない分は繰り返し復習して定着させよう。
- 授業で学んだこと、考えたことを、ノートを見返しながら振り返ろう。

数学科 (Mathematics)

◇数学科で何を学ぶのか

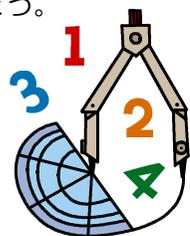
数学を学ぶ目的は、「問題を整理して答えを導くことで、論理的な思考を身に付ける」ことです。また、様々な知識の中から適切な解決法を探し、答えを導き出すというおもしろさもあり、いろいろな考え方ができるのも数学のおもしろさです。苦手な人もできないからといってすぐにあきらめず、何度もくり返しやってみてください。問題が解けたときの『できた！』という達成感を感じることで、どんどん数学が好きになることでしょう！

◇予習について

- 教科書を読んで、次の授業内容を確認しましょう。
- 読んで自分が理解できたところ、できなかったところを明確にして授業を受けられるようにしましょう。

◇授業について

- 授業が始まる前に数学の「教科書・ノート・ワーク」をしっかりと机の上に用意しておきましょう。忘れたときは、授業が始まる前に先生に伝えましょう。
- 先生の話をよく聞いて、授業の内容を「理解しよう」と努力しましょう。
- 聞く、書く、話すのけじめをつけ、集中して授業に取り組みましょう。
- 計算の途中式などをしっかりと書いて、考える過程を大切にしましょう。
- 問題をじっくり考えて、思考力をつけましょう。
- わからないときは必ず質問して、その場で解決するようにしましょう。そのままにするのはダメです！



◇復習について

- まずは宿題をやりましょう！
- 授業でわからなかった問題や間違った問題をやりましょう。
- わからないところは、「①まず解答を見ながら問題を解く。→②同じ問題を解答を見ないで解く」を繰り返しましょう。
- 授業でやった内容までのワークは進めてもOKです。テスト前にあわてないように、計画的に進めましょう！

◇テスト前の学習について

- 教科書やプリントを繰り返し学習しておきましょう。
 - わからなかった問題は、解答を見て途中の式や考えを書いて覚えましょう。(ただ答えを写すのはダメです！)
 - 間違えた問題は必ずやり直しをし、自分ができなかった問題がわかるように青ペンで○をつけておきましょう。
- ※まちがえた問題を集めたノートを作っておけば、自分が苦手な問題をテスト前に見直すことができますよ！

英語科 (English)

◇英語科で何を学ぶのか

英語を学ぶ目的は、英語によるコミュニケーション力である(「聞く」「読む」「話す」「書く」)を高めることです。中学校での勉強を頑張ると、1年生の終わりには、「自分のことや身の回りのこと」、2年生の終わりには、「日常生活のこと」3年生の終わりには、「社会での出来事」について、ALTの先生や友達と英語でコミュニケーションがとれるようになります。英語でのコミュニケーションを通してたくさんの人と友だちになりましょう。また、海外に行って、英語が上手に使えるようになるための第一歩です。楽しくがんばりましょう！



◇予習について

- 教科書のこれから勉強する新しい単語を調べたり、ノートに練習したりしてみましょう。
- 教科書のQRコードで本文を聞きながら音読の練習をしてみましょう。

◇授業について

- **失敗を恐れず、とにかく英語を使おう**
ほとんどの人にとって、英語は、母語ではありません。失敗して当然です。むしろ、一番失敗してもいい教科書です。失敗を恐れず、失敗から学びましょう。失敗は成功への第一歩ですよ。どんどん英語を使う人に英語の女神は微笑みます。
- **コミュニケーションをする相手を大切にしよう**
英語が上達するカギは、よいコミュニケーションができる仲間をつくることです。「失敗しても大丈夫」と思える関係を友達とつくるために、コミュニケーションをする相手を大切にしましょう。

◇復習について

- ☆授業で習った表現やあいさつなどを日常生活でどんどん使って、慣れていきましょう。それが一番の復習です。
- 授業で勉強した教科書の本文をもう一度音読したり、単語や表現などをノートに書いてまとめたりしましょう。
- 授業で話したことを、もう一度書いてみましょう。
- 対応するワークの問題をやり、理解を深めましょう。



◇テスト前の学習について

- ワークに自力で取り組みましょう。
 - 授業中に行った活動をよく振り返りましょう。
- ☆英語科では、パフォーマンス (Challenge Time) で話す力をはかります。授業中の活動で高めた力を発揮する場です。授業を大切にしましょう！

